

1. 件名：浜岡原子力発電所3号炉及び4号炉の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する面談

2. 日時：令和5年10月18日(水) 13時30分～14時30分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口上席安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、井清係員、松末技術参与

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 原子力土建部長  
他8名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうちプレート間地震の津波評価について

・浜岡原子力発電所 基準地震動・基準津波等の審査対応スケジュールについて

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	A規制庁地震津波のスズキですそれでは時間になりましたので浜岡現職発電所のハザードの面談を始めたいと思います。
0:00:14	案件としてプレート間地震の津波評価。
0:00:18	これ前回の会合で少し全体の構成ですねこれまでいろいろコメント回答がなされているところ全体の構成を整理するということで、その作業状況ですかね。
0:00:28	お話等そのあとに審査のスケジュールですね、最新の事業者の方の予定ということで、
0:00:37	資料が来てますので、ではまず先にプレート間地震の津波評価についてですね、ご説明の方お願いします。はい。中部電力の尾川です。
0:00:46	プレート間地震につきましては2023年の1月27日の日に1109回審査会合におきまして、今、鈴木さんからお話いただきましたコメントが出ております。
0:00:58	その観点で、今、すす作業進めてる状況についてご説明をさせていただきたいと思います。
0:01:06	後者の10分ほどで説明をさせていただきます。よろしくお願いします。
0:01:11	はい。
0:01:13	中部電力の盛です。
0:01:16	プレート間市の津波評価についての、面談資料という形で本日用意さ
0:01:21	こちらの構成を現在見直しをしております、その概要部分をお持ちした。
0:01:27	掻い摘ん見つつ、変更点を、
0:01:30	行きたいと。
0:01:31	2ページ目本資料の説明内容ということでプレート間シノダ
0:01:36	で3ページ目が、前回審査会合でのコメントと、そのコメント回答の概要についてということで記載しています。
0:01:44	1109回のコメントとしまして一つ、いただいております、プレート間市の津波評価の方針、論理構成を再点検し、
0:01:52	痕跡再現モデル、或いは検討波源モデルの位置付け、パラメータスタディパラメーターSARRYの幅等を含め、一連の体系的な内容として整理されているかを確認して説明
0:02:02	検討波源モデルのパラメータSARRYを再点検し、評価に漏れがなく、評価結果変わらないかを確認して
0:02:09	という、コメントをいただいております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:10	コメント回答の概要の方で、
0:02:14	記載しています。全9回の審査会合における議論を逐次反映してきたプレート間地震の津波評価について、今回法、評価方針、論理構成根拠というのを再点検して、
0:02:25	特に以下の1から3の項目について、評価方針等を明確化して整理を行い、一連的な
0:02:31	体系的な内容として主要最高
0:02:33	ような作業、
0:02:35	下側にプレート間地震の津波評価のフローを書いてまして、まず(1)として黄色で囲っている全体です。
0:02:43	評価の全体の評価方針を現在整理して、
0:02:46	その明確化に伴って、全体構成の見直しも行っており、
0:02:51	二つ目赤いところですけども、議論にもなっている検討波源モデルと痕跡再現モデルとの関係等について、
0:02:59	こちら評価方針を明確化することとともに、両者の関係について整理をして、
0:03:05	あと三つ目が、パラメータSARRYの部分ということで、こちら方針をどうするかということと、
0:03:12	その結果に漏れがないかというところを最低
0:03:16	確認。
0:03:16	というような作業、コメント回答
0:03:19	方針として作業
0:03:22	で、4ページ目が、資料の構成の変更についてご説明しております。
0:03:28	左側が1109回の津波、審査会合での
0:03:33	右側が今回の説明と
0:03:35	フローになります。
0:03:37	で、黄色の矢印で書いてます。特に痕跡再現モデルの検討等行政機関による津波評価の確認の部分を、構成として大きく変更しております。
0:03:48	左側のところで2章として、独立であったところについて、基本的には右側のように、検討波源モデル設定の中で検討していくものになりますので、そちらを
0:03:59	検討波源の設定の中に痕跡再現物の検討というのを庄野、小項目として入れ込んで
0:04:06	等、あと左側の行政機関の津波評価の確認がちょっと独立しておいてあって位置付けがわからないということも、審査会合では、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:15	議論いただいたかと。
0:04:16	で、こちらは、各章の中で、それぞれ
0:04:21	参照する1件として使っておりますので、今、検討波源モデル設定のところで、
0:04:28	1件として内閣を参照。
0:04:30	パイパスたりのところや、比較による確認のところでも当然参照
0:04:34	で、章立てをすることを取り止めまして、それぞれの項目の中で、1件として取り上げるというような構成に、
0:04:46	5ページからが、
0:04:48	見直した構成に、
0:04:50	伴って今現在作っております津波評価の概要のスライドになります。
0:04:56	5ページ文字が多くて恐縮なんですけれども、
0:05:00	まず津波評価の方針と、
0:05:02	ので、
0:05:03	浜岡のプレート間地震津波に関する特徴を考慮して、黄色では書き換えている方針によって検討を行って
0:05:11	ことにしています。
0:05:12	1ポツ目2ポツ目と書いてありまして、1番目はこれまでと、大きく変更ございません。
0:05:18	南海トラフのプレート間地震というのを対象としていて、南海トラフ及び国内外の最新知見に基づき、
0:05:25	南海トラフの特徴と、東北地震の知見等を適切に反映したM9クラスの検討波源
0:05:31	というのを設定し、
0:05:34	津波評価に影響を与える主要な因子に関するパラメータスタディを内閣府のモデルも含めて網羅的に
0:05:42	より、
0:05:43	機器への影響の観点から不確かさを考慮した津波評価を行い、
0:05:47	内閣の最大クラスモデルとの比較により確認を行った上で、
0:05:51	一番影響が大きいというものをプレート間地震津波
0:05:55	2ポツ目のところが、少し追加しておりまして、上記の検討波源モデル設定にあたっては、南海トラフでは多様なM8クラスのプレート間地震の津波というのが発生している特徴があると。
0:06:07	考慮しまして、複数の痕跡再現モデルというのをもとに、東北沖地震の知見を反映した、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:14	複数のM9 クラスの検討波源モデル性
0:06:18	というのを大方針
0:06:19	で、
0:06:21	この方針を作るにあたって、
0:06:24	まず考慮したな。浜岡のプレート間地震津波に関する特徴と、
0:06:28	どう考慮したかというところを下の表に記載しています。
0:06:34	まず左側 1、①番としまして、
0:06:39	当然なんですけども、浜岡の敷地は南海トラフに面していて、南海トラフのプレート間地震の津波というのが大きな影響を、
0:06:46	いうことから、
0:06:48	どう考慮するかという右側の方では、敷地に近い南海トラフのプレート間強に検討
0:06:55	二つ目として、南海トラフでは、多様な波源を持つM8 クラスのプレート間地震が、複数回発生し、
0:07:02	その津波痕跡を置き、残された
0:07:05	このうち、東海地域南海地域が同時に発生した宝永地震が、既往最大規模の時
0:07:12	れておりますけれども、
0:07:14	浜岡が、敷地が位置する遠州灘沿岸域には、宝永地震より大きい津波が確認されているというような地域もございます。
0:07:22	真ん中辺りで敷地周辺の主な既往津波ということで、これまでお示ししている演習など沿岸域の津波痕跡高を示しております。
0:07:31	丸が宝永になりまして、
0:07:34	ハママツより西側では、どの津波も同じぐらい。
0:07:37	で、ハママツより東側に行くと、どちらかという安政東海の方が大きいというのが、知られています。
0:07:46	この辺りの特徴を踏まえまして、
0:07:50	表の右側です。
0:07:52	南海トラフでは、頼ったような、M8 クラスのプレート間心の津波が発生しているという特徴があるので、
0:07:59	その本席には、ツナ南海トラフの特徴というのが反映されている。
0:08:03	考えられることを考慮し、複数の痕跡再現モデルを敷地の津波評価するという観点から検討し、
0:08:11	それをもとに、不確かさを考慮した評価を行うと。
0:08:15	いうふうに

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:17	3 点目、
0:08:20	南海トラフの方では、M9 クラスの地震がそもそも確認されていないと。
0:08:24	ので、国等による最大クラスの津波の検討では、
0:08:28	国内外の巨大地震に関する最新知見を確認の上、東北沖地震の知見を反映したM9 クラスの波源による検討というのが行われて、
0:08:36	当社も、右側の方ですけども、星不確かさとして保守的に東光寺地震の知見を反映したM9 クラスの検討波源モデルというのを設定しまして、
0:08:47	内閣の最大クラスモデルのパラメータを含めた、
0:08:50	動向等
0:08:51	ごとに、
0:08:52	これらを踏まえて、エザワの方針を策定して、
0:08:57	6 ページ目お願いいたします
0:09:00	上側に、先ほどの津波評価の方針の再掲で、
0:09:04	その下に、
0:09:06	具体的なプロセスということで、
0:09:09	津波評価の検討は、検討対象の地震の選定、2 章として検討波源モデル野瀬
0:09:15	参照として、
0:09:16	青色のところですね、
0:09:18	パラメータスタディで 4 章で、内閣府のモデルとの比較によるか
0:09:23	ような、先ほどお示した昇降線に沿って、衛星
0:09:27	していく、構成にして
0:09:29	それぞれの概要を次ページ以降、お示し
0:09:38	7 ページは、検討対象地震野瀬
0:09:41	てということで、
0:09:43	これまでご説明してきたことになりますけれども、
0:09:47	表で示している、既往津波の文献調査、加来澄子みたいのと、
0:09:52	する。
0:09:53	数値シミュレーションによる敷地の影響の表
0:09:56	というところを踏まえて、
0:09:58	次回南海トラフを、
0:10:01	してらんで今
0:10:03	8 ページ目が、検討波源モデルの設定の検討概要になります
0:10:08	すいませんちょっとまだレイアウトがうまくできていなくて 8 ページ目 9 ページ目が、セットに、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:14	見ていただければと。
0:10:18	1 ページ目の方で、痕跡再現モデル、検討波源モデルそれぞれの設定の方針
0:10:24	9 ページ目にそれをフロー化したものが記載して、
0:10:30	9 ページ目の方が少しわかりやすいのでこちらの図のほうで説明さ
0:10:35	きますけれども、
0:10:36	左側ですね、痕跡再現モデルのまず検討ということで、さ
0:10:44	先ほど申し上げましたように多様な葉山 8 クラスのプレート間地震
0:10:48	をしているというような南海トラフの特徴を踏まえまして、複数、
0:10:52	痕跡再現モデルというのを敷地への影響の観点からけ
0:10:55	とります。
0:10:56	まず、緑で示し、一番左の図で緑で示している。
0:11:01	既往最大と言われる、宝永地震
0:11:04	を、南海トラフの広域で再現する。
0:11:07	南海トラフ広域の宝永地震再現モデル
0:11:11	というのを設定しています。こちらの名称を今回、
0:11:17	このモデルを作るということと、もう一つ、浜岡敷地が位置する遠州灘においては、宝永地震よりも大きい津波が確認されているという地域があるということも考慮して、
0:11:28	敷地への影響、
0:11:30	評価する観点から、青色で示すような、遠州灘沿岸駅の
0:11:36	津波、5 地震による痕跡を再現する津波と、
0:11:40	ホデ演習など沿岸域の 5 地震痕跡再現モデル
0:11:44	というのを、
0:11:46	こちらも名称へ
0:11:49	それぞれ、上側の緑の方痕跡の再現モデルについては、
0:11:55	広域の津波特性を考慮した滑り量分布、
0:11:58	あとで、土木学会の特性かつ
0:12:02	北川の演習の沿岸域の 5 地震痕跡再現モデルについては、
0:12:07	生態する沿岸域に大きな津波をは
0:12:09	取れる、内閣府の、
0:12:11	食生活ビルを
0:12:13	M8 クラスなので調整力がない分布としてそれぞれで、
0:12:16	てモデルを作って、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:20	この二つのモデルをもとに、検討波源モデルの設定の右側の方ですけれども、
0:12:25	それぞれ東北地震において巨大地震が発生した要因ということで、ab
0:12:32	というので、
0:12:32	この二つを考慮したモデルとして検討波源モデルを作って今
0:12:37	一つ目として地震規模が前向き
0:12:40	だということと、二つ目として、
0:12:42	通常の海溝型地震と津波地震とが同時に発生し、特に浅部のプレート境界が大きく、05
0:12:50	を考慮して、
0:12:51	それぞれ検討揚げ物シート検討MAオオツカ
0:12:55	で検討波源モデルAについては、敷地への影響が大きいと考えられることから、えさ浅部の破壊形態ということで、分岐断層に、破壊が伝播する、
0:13:06	モデルB
0:13:07	調整力が深いところまでということで検討はMDを、さらに、
0:13:14	以上が、検討励むの設定の検討の概要になり
0:13:19	ページ目からが、パラメータスタディの方針
0:13:23	の
0:13:24	こちらも
0:13:26	ページセットですけれども、大きく、ちょっと今回変更しておりませんので、せ
0:13:31	は、かつ、
0:13:34	12 ページが、パラメータスタディの、
0:13:38	13 ページが、
0:13:39	パラメータスタディ、飲酒の影響分析、
0:13:42	ホデ、
0:13:44	今回のコメント回答にも関わる内容に、
0:13:48	こちらは、これまでお示してきた、各パラメーター因子の変動幅を1枚にまとめたものになり、
0:13:56	上から水位上昇側の敷地前面と1から5号取水槽、最後が345種
0:14:02	の影響
0:14:03	して、
0:14:04	左側から滑り域の位置ライズタイム破壊伝播速度、破壊開始点の変動幅を記載したものに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:14:12	前回の審査会合では、一番下の水位下降側の取水等について、
0:14:18	特に未
0:14:19	青で示しているライズタイムの変動幅れて
0:14:23	水平スイテイカジ感としてプラス枚震えて
0:14:26	言うのと、破壊伝播速度破壊開始の変動は
0:14:30	というのが、
0:14:31	あまり変わっていないと。
0:14:33	いうことで、
0:14:35	青の箱書きで書いて、
0:14:36	けれども変動幅が同程度である。
0:14:38	と。
0:14:39	水
0:14:40	加古側では、ライズタイムがスイテイカジ与える
0:14:43	と、破壊伝播速度破壊開始点が、
0:14:47	時間に与える
0:14:48	ということとの関係が明確ではないと。
0:14:50	から、順番によって選ばれるケースが変わる可能性がある
0:14:54	というふうに評価をしまして、組み合わせのパラメータSARRYを実施し て、
0:14:59	今回は上昇側の方についても同じような目で見ております
0:15:03	まず一番上の、同じ目で見たときに、
0:15:07	どことどこが、同じぐらいの変動幅になっているのかという目線で見たと きに、
0:15:12	敷地前面の、
0:15:14	基準断層モデル 3 の 2 のところで記載してます滑り域の位置とライズタ イムの 3.5 と 3
0:15:21	と、取水塔に関しては、検討波源モデルAの
0:15:26	ライズタイム 0.2 と、破壊伝播速度破壊開始点の例、
0:15:31	と、基準断層モデル 3-2 のライズタイムと、破壊伝播速度破壊開始点 の、0.4 と 0.
0:15:38	ところが、
0:15:40	同じぐらいの影響度になっ
0:15:42	ゴトウか。
0:15:44	で、
0:15:45	それぞれ、どういうふうに評価をしているのかというのを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:49	赤の点線の中に
0:15:51	まず一番上の基準の案③-2のところについては、
0:15:57	両者の変動は同じぐらいであるということ。
0:16:01	が、②番の
0:16:02	概略パラメータスタディでは、敷地への影響が最も液位ケースと、それと同程度のケースというのを
0:16:09	選定する方針としていますので、すでに敷地前面の影響が同じぐらいのケースというのを複数選定していることから、
0:16:16	これらのパラメータスタディの順序によって選定されるケースが
0:16:22	変わることはないというふうに評価して
0:16:25	下側の取水槽の方のライズタイムと破壊伝播
0:16:30	アカシて、
0:16:31	については、変動幅が同程度であると。
0:16:35	ですが、
0:16:35	水位上昇側ではライズタイムが短いほど津波水位が大きくなるというような関係は、
0:16:41	破壊伝播速度破壊開始点にはよらないということをこれまでも説明してきましたので、そこを使って、
0:16:47	順番がどうというよりは、ライフタイムが短いほど津波高が大きいということは変わることがないので、
0:16:54	より選定されるケースも変わらないというふうに評価をして
0:16:58	その下の3-2の方も同様で、同じように変動幅は同程度なんで
0:17:03	けども、
0:17:04	水位上昇側では、ライズタイムが、
0:17:07	ほど、
0:17:10	ので、順番によって、
0:17:11	選定されるケースが変わらないと。
0:17:15	ただ、この黄色でつけています。
0:17:19	評価値にどこが影響が大きいのかというところの中では、3-2が一番大きい
0:17:25	大きいモデルになって
0:17:27	念のため取水槽への影響が大きい。
0:17:30	ところから、ライズタイムと破壊伝播速度の、
0:17:33	組み合わせのパラメータスタディによる影響の確認も実施しています、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:37	それでも組み合わせ、
0:17:39	選ばれるケースが変わっていないということを、
0:17:42	こちら、前回補足でつけておりましたけども今回改めてこう
0:17:46	したいと。
0:17:49	14 ページが、最内閣の最大クラスモデルのとの比較により、
0:17:55	これまでと、説明したものに、
0:17:58	15 ページが津波
0:18:01	16 ページが、全体の
0:18:05	こちらの章構成の変更に伴って、上側のバーのあたりを修正して、
0:18:11	今まだ作業で
0:18:12	おりませんけれども、
0:18:14	広域のモデルを上を持ってきて、
0:18:18	市前面に近いご自身再現モデルを下の方に持っていくというような作業は実施する予定
0:18:25	17 ページが津波評価の結果に
0:18:29	本日お持ちした資料の説明、
0:18:36	はい、定常スズキでご説明ありがとうございました。
0:18:44	何、大きくは、
0:18:47	では来ないようなイメージですがー。
0:18:53	4 ページかなこれが項目ですよ。
0:19:01	そう。
0:19:03	はいはい。はい。
0:19:05	気になり、痕跡再現モデルの検討と言っていたものを、
0:19:11	それを、
0:19:12	第 1 点検討波源モデルの設定という、はいはい。
0:19:17	ところにまとめました。
0:19:20	行政機関による津波の評価ってちょっと待ってくださいねこれもともと。
0:19:24	どうなったかという、
0:19:27	ちょっと待ってくださいね、行政機関って。
0:19:32	そう宙ぶらりんで痕跡再現モデルの設定の話をした後に、行政機関による津波のなんつうか内閣府最大、
0:19:41	イクラスの何か、
0:19:43	津波、
0:19:44	野中です。
0:19:46	説明があつたり、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:48	そのモデルとかパラメーターのような説明もあつたり、実際に内閣府が津波想定をした結果の話もあつたりと。
0:19:56	あとは形相ですね、そういう、あとは、
0:20:00	相模トラフとか日本海溝千島海溝の情報とかっていうのもあつたんで、
0:20:04	それはそれで何とか行政機関の検討とか結果も含めて、多分一連の塊であるっちゃうことにはもともと、
0:20:13	意味はあつたのかもしれないですけど、ただ、
0:20:15	結局、それぞれのその検討波源モデルの設定とか、パラメータスタディどうやるかっていうところで結局同じ
0:20:22	部分的に、それぞれ必要なものを使うことになるので、この間がそれぞれのところに、
0:20:27	分解しましたと。
0:20:31	ということですかね。はいはい。
0:20:35	ただ、何かその官邸で何か改めて、
0:20:39	何かつけ足されるものとか、そういう、いわゆるこれまでご説明の中で聞いてなかったような、
0:20:46	新たな何か知見なり何かを入れてくるっていうそういうことではない。
0:20:51	ね。
0:20:56	はい。中部電力の盛です。追加があるということではなくてそれぞれの今、関さんおっしゃられたようにそれぞれ参照すべきものを、その上に入れ込むというような作業かと思っています。
0:21:08	わかりました。モデルの話であればモデルの場所、パラメーターなしでパラメーターの場所、
0:21:14	結果の話では最後の 22.7 メートル、
0:21:16	との関係のところでそれぞれ説明します。
0:21:19	ということですねはい。
0:21:22	何となくイメージは、
0:21:25	と。
0:21:26	ちょっと一番このタイミングでお聞きすいませんしておきたかったのは、
0:21:34	検討波源モデルCというか広域の再現なモデルの話。
0:21:41	ある痕跡再現モデルって、9 ページかな。
0:21:47	広域、
0:21:49	際限の話と、いわゆる遠州灘沿岸域の再現の話とこう二つあって、
0:21:57	もともと、その会合の経緯からすると元遠州沿岸のその再現の話があつて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:04	後からもう少し広域、
0:22:06	広い意味で南海トラフ全体で大きな影響あるものって何なんだという話で後から
0:22:11	検討として追加されたという経緯はあるんですけど、
0:22:15	最終的な置き場というか、この検討波源モデルし、
0:22:21	これは前回から位置付けなりは特に変えてないっちゃうことなんですかね、変えない予定で今、
0:22:29	組んでるってことですかね。
0:22:32	例えば 56 ページの、
0:22:35	テンパイフロー図を見ていくと、
0:22:38	これ、前回から一部修正ってなってますけど、
0:22:43	結局、痕跡再現モデルの検討をして、二つの痕跡再現モデルから検討波源モデルとしては、
0:22:52	それぞれ、広域のものは検討波源モデルCで、
0:22:57	遠州灘沿岸のものは、
0:22:59	検討波源モデル、そこからさらにとび分岐断層を考えたBモデルDと、
0:23:05	さらに超滑り域の深さを、
0:23:08	あまり
0:23:09	集中させたような、1ヶ所に集中させたようなモデルDっていうふうに展開はしてますけど、
0:23:16	検討波源モデルCも含めて概略パラメータスタディに、
0:23:21	分けてっていうと、
0:23:25	あくまで検討波源モデルCは、このモデルABD、
0:23:30	これいわゆるなんか妥当性というか、
0:23:33	そういうものを説明するため、
0:23:36	このベースとなる行為機能の若生で実際敷地への影響を考慮して、遠州灘の方のベースでAB、Dを作ってるわけですけど、
0:23:44	そのモデルがいいのかとか、概略パラメータ数でやった結果がいいのかっていうそういう使い方ではなくて、
0:23:50	結果として、概略パラメータスタディの結果、
0:23:54	基準断層モデルには選ばれないっていう結果、比較した結果選ばれないっていう話であって、
0:24:01	当然、BDしか選ばれない、Cはその単なるそのじゃなくて非その比較対象というか、
0:24:08	合理性を説明するためのモデルっていうことではなくて、一応そこは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:13	等価値というかですね。
0:24:15	モデルABCDは全部等価地で概略パラメータスタディをやって、選ばれたものに対して技師をやっていくっていう。
0:24:22	そこは多分、これ前回までもそんな流れですねそこは変えてないっていうことなんですかね。
0:24:29	はい。中部電力の盛です。そこは変えずに論理を構築したいと思っています。
0:24:35	今回、ちょっとまだ説明足りないと思うんですけど9ページのところで、何で痕跡再現モデルを二つ作ったのかということも8ページ9ページのところで、
0:24:45	整理しています。で、南海トラフの特徴として、東北沖のようなM9クラスのよく知られた人が一つしかないというようなところとは違って、今8クラスの地震っていうのが繰り返し起きています。で、
0:24:59	かつそれを、
0:25:00	津波には多様性があるって、どの津波が一番大きかったかっていうとちょっと言いがたいというような状況もあるというのが特徴かなと思っています。
0:25:08	なので、コメントをいただいて、広域の再現モデルというのも一つ追加しましたけれども、それはあくまで1地震一番大きい宝永地震を再現したモデルになってますので、
0:25:18	ちょっとまた別の視点ということで、遠州灘沿岸域に影響が残っている地震、5地震の痕跡を、大きいところを再現するというモデルも
0:25:30	これはこれで必要だろうというふうには考えています。で、結果論としては確かに、広域再編よりも、ご自身のモデルから派生していった方が大きくなるのはそうかもしれないんですけども、
0:25:41	それはどこまで検討していくかということもありますので、両者並立で、
0:25:47	横並びで検討していた結果として、
0:25:50	Aの方のモデルやなりDの方のモデルが残っていったというような論理構築を現在考えております。
0:25:58	はい。そっか、広域再現と言いつつ、ただベースとしては、
0:26:04	宝永地震による津波というある一つの、
0:26:07	ものを再現しようとして、
0:26:10	いるっていう、その何か根っこがあって複数のいろんな
0:26:15	結果から広域を再現しようとするときは、やっぱり一番この地域南海トラフで一番大きかった宝永地震の再現モデル。
0:26:23	なんでそれはそれで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:25	検討波源モデルとして、しっかりと一つのものだというようなお考えですかね。はい。何となく、
0:26:33	考えられてるところはイメージできました。
0:26:36	それ以外もあんまり、
0:26:39	あとは、結構かなり検討としていろいろやられていったりするので、本編というかどこまで資料として分厚いものにするか、細かい分析みたいなものを参考とか補足とか、
0:26:53	どういう国家構成にするかというようなそういう工夫を、
0:26:57	されてい
0:26:58	いるのだろうなとは思いましたが、
0:27:04	あとはちょっと、
0:27:06	全体で大きく構成を変えたり今やられてることのサブ自体は、多分何か、
0:27:12	この間で、
0:27:13	こんな分析もしてみましたあんな検討もしてみましたっていうのは、
0:27:17	そこは特段ないってことですかね。
0:27:20	やられているのかちょっとそこだけすみません、もう1回教えてください。
0:27:25	論理再構築とか置き場所とか、どの順番でっていう構築は変えてるんだと思うんですけど、何か追加でこういう分析をしてみましたとかこういう確認をしてみましょうとかそういうのは何かやられてるものってあります。
0:27:39	はい。中部電力の盛です。特にコメントの中で評価結果は変わらないものの、漏れがないかというところ。
0:27:47	大事かなというふうに思っています。ちょっとその意味で、本日13ページをお持ちしてまして、この辺り、前回、
0:27:57	青色のところの水位下降側について、パラメータされ追加したということ
0:28:03	で、 ご説明させていただきまして、他のところはいいのかという観点で、ご指摘いただいたというのがもうコメントし残っております。で、同じような目で今回江川の増井上昇側、
0:28:14	の
0:28:16	3点書いておりますけどもこの辺りについて漏れがないのかというようなところの分析というのは特には進めているというところでございます。で、結果

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:26	結論としては入れかわりがないというふうには考えておまして、前回もちょっと位置付けを補足という形であんまりしっかりと説明できてなかったところもありましたので、一番赤で塗ってます三つ目の、
0:28:41	変動幅が同程度で、ライズタイムは短いほど、
0:28:46	津波水位が大きくなるということは入れ替わらないというようなことは、評価しているもののちょっと補足としてけ、検証結果だけ置いてあったところ、きちんとご説明させていただくということも含めて、
0:28:57	パッケージ化させていただきたいなというふうに思っていますこの辺りもちょっと結p今の時点で、もっと分析した方がいいんじゃないかというのを、
0:29:08	ご示唆等ありましたら
0:29:10	言っていただきたいなというふうに思って、
0:29:16	この規制序するケース、ちょっとすいません、前回の資料を手元に置きながら読みしているわけではないんであれなんですけど、
0:29:22	これ 13 ページって水位上昇側敷地前面と言っていて、
0:29:28	ここは、
0:29:30	何か新しく
0:29:35	検討し、上昇側特にないんですよ。
0:29:39	このナカイ論である谷津刀禰ってナツメアノ違いでしたっけこれ。
0:29:47	基準断層モデル 1 の 1 っていうところと白抜きになってる方の 3-2 っていうのは、
0:29:52	わかりましたっけ。
0:29:53	黄色で塗ってあるところが、概略パラメータスタディの時点で、敷地前面の影響が大きいのが、どっちかということで、
0:30:01	A-1-1 の方が影響が敷地で大きいと、一方で取水層の方は、
0:30:07	モデルD系の 3-2 の方が影響が大きいということで元に振り分けてしまっているというところで、
0:30:13	ちょっと今回そこを横並びにして見えています。で、
0:30:17	白い方は、今まであまり明示的には分析してこなかったところになってますのでそこも含めて分析を追加しているというのが今回の新たな
0:30:28	ところに、
0:30:32	方、
0:30:36	そうすると、基準断層モデルとして、上昇側ですよ基準断層モデルとして選んだものについて確かに解析は、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:30:44	敷地前面で高いから選んだものも、取水層が大きくもともと概略パラメータスタディ大きいから選んだものも、
0:30:51	一応、
0:30:52	敷地前面で選んだものも取水槽の数字も計算してるし、製造の方で、概略パラスタで上位で選んだものも、
0:31:00	敷地前面の方も計算はしてるわけですよ。
0:31:04	それは、じゃあ、詳細パラスタのところは敷地前面の影響で選んだ基準断層モデルも、取水層の方で選んだ基準断層モデルも、
0:31:14	両方同じようにイシイ分析じゃないですけどパラスタやった結果の変動幅の分析をやりましていうそういうことですか。
0:31:27	はい。おっしゃる通りです。
0:31:30	結果的にその一番例えば上の方の敷地前面で、
0:31:34	基準断層の3-2ってのを選んでいないんですけども、取水槽側で選んだケースと、
0:31:39	し、
0:31:40	のが敷地前面でも一番、3-2-3-2というか、D系の中で大きくなっていると。その周りで、
0:31:47	選んだものモード図が比較的大きくなってますので、そういう意味で、取水槽側で選んでいるもの。
0:31:54	敷地前面の観点からでもきちんと複数ケースが概略パラメータ時点で選んでいるということを確認しているというのが一番上になります。
0:32:05	そのように分析を、計算結果はありますので分分析を対進めるということを今回考え
0:32:13	何と、
0:32:14	ちょっと、じゃあ、何となくもうちょっとイメージだけ聞いてよと。
0:32:18	だから一番上は敷地前面で1-1、検討波源モデルベースにした1-1でこれがまあ、
0:32:24	概略パラメータスタディが一番大きいですとこれ詳細パラメータスタディをやって最終的な
0:32:30	式前面の+22.7が出ましたと。
0:32:33	ここで出たような滑り域の位置の影響、或いはそのライズタイムでどのぐらいは変動するのとか、
0:32:41	次の破壊伝播か速度は買い替え震度ぐらい変動するのかっていうこういう傾向と、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:47	検討波源モデルDの方も、これは取水槽側の方で主に、最後検討波源モデルとしては、
0:32:54	選んでる基準断層モデルとかとしては選んでるんだけど、その概略パラスターとライズタイム、破壊伝播化に関してこの辺の変動幅の傾向っていうんすかねパラスタ結構、
0:33:06	それは似通っていて何か検討の上モデルDをベースにした基準断層モデルさんのイデ。
0:33:13	何か特徴の別途特徴のあるような、パラスター結果が出てるわけじゃない詳細パスの結果が出てるわけじゃないって、そんなような御説明を考えてるんすかね。
0:33:30	多分なんか下の箱書きも何か変動幅が同程度とか何かこの辺も書いてあったりするんで。
0:33:36	はい。
0:33:37	わかりました。今回改めて説明って言うてるのがこの取水上昇側の取水槽の方なんです。これはだから、
0:33:45	初めて出るってことですかね。
0:33:49	今回詳細は資料出てから中身確認しますけど。はい、わかりました。
0:33:54	この辺は少しコメント回答を踏まえてっていう部分ですかね。はい。
0:33:59	これは町を出てきたら確認をさせていただきますと。はい。
0:34:04	あとすいません原点でっていうことで、少し資料作成段階っちゃうことなんでお願いベースというか、明確にしておいてもらいたいようなことだけちょっと申し上げておくと、
0:34:18	結構御社の場合、あまりM9 クラスってそもそも実績がないので、いわゆる日本海溝税みたいなのを言われるね、何か明治三陸だったかな、ああいうような、
0:34:30	多分ものベースで、いわゆる基準断層モデル検討アベモデルとか、
0:34:35	いろんな種類のものって多分作りようがないっていうのは、承知はしています。ただ、一応ガイド上津波プレート間のところって、一応強い揺れと大きな津波生成する地震ですと、
0:34:48	海溝分岐断層同時シマこれ多分モデルBかなって多分やられてるんだと思うんすけど、あとは揺れは強くないけど、
0:34:56	海溝付近での津波地震ですね。
0:35:01	タイプと、それらの同時発生っていうところで、考えとしては最終的に同時発生というか初めからM9 クラスで、海溝軸付近のところで大きく滑るようなものを作ってますっていう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:15	ところだと思うんですけど、ちょっとこのガイドで挙げてるような4点っていうのが、
0:35:20	どういう形で今のその検討波源モデルの中で考慮されているのかと。
0:35:25	いうところはちょっとわかるようにしておいてなくて、
0:35:29	最終的には、多分、複数ですねもう1から3までさっき申し上げたようなものが複数まざったものが、モデルAなりBなりTなりで考慮されてるっていう。
0:35:42	ことだと思うんですけど。
0:35:44	あとその辺り明示的にわかるようにしていただきたいかなと。
0:35:48	何か検討に欠けがあるということで申し上げたわけじゃないんですけど。
0:35:53	その辺り位置付けがわかりやすくしていただければということは申し上げておきます。はい。
0:36:01	あとはすいません、資料を出てきてからかなと思ってますけど、他、
0:36:06	と今の、
0:36:07	少し
0:36:09	そんなに大きく構成というか検討波源モデルとか、
0:36:13	基準断層モデルとか、痕跡再現モデルの位置付けを大きくいじってくるということではなさそうですけれども、
0:36:20	何か買い、現状の検討状況で確認しておきたい点ある方おられますか。
0:36:27	よろしいですか。中部電力の方から何か少し、今の段階で聞いておきたいことあれば、
0:36:35	はい。
0:36:36	中部電力の盛です。今鈴木さんがおっしゃられたことの認識をしまして、
0:36:42	9ページのところで少し金、これまでもご説明してはおりますけれども、そもそも向きを作っているんで、松波自身がとかっていうことではなくて全域が破壊するような地震を考えていると。
0:36:56	右上の方で地震規模と、畑専務の破壊形態ということで二つ、不確かさとして巨大東北沖地震の事例を考慮していますというところの中で、
0:37:07	普通の地震と津波地震とが同時に発生するということを考えているということは、書いています。で、この中に松波市に単独だとか、普通の地震単独だとかっていうことがそれを超えるようなものと考えているんだということがわかるように、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:23	この検討波源の設定の方針だとか、もうそのパーツの中で、きちんと明示化させていただくことを今考えております。そういうような認識でよろしかったでしょう
0:37:35	はあ、そうですねはい。
0:37:36	どういう趣旨になるのかな、検討波源モデルAとDワー
0:37:43	これはね、強い揺れっと大きな津波のやつと、
0:37:47	開校時、特に海溝軸付近で大きな滑りがあるっていうのは、
0:37:52	が一番近いのかな。
0:37:55	検討がモデルBは、いわゆる開口直近の分岐断層まで同時に活動する地震。
0:38:02	をベースに、
0:38:04	室長強い揺れっと大きな津波なちょっとその保守というじゃないんですけど、ちょっとどれどれとどれっていう。
0:38:11	123 三つともう1個のモデルになってるものはないのかな。
0:38:16	ちょっとそこら辺の頭の整理なんかも、
0:38:19	さしてもらいたいんで、
0:38:21	はい。
0:38:24	中部電力の森沢狩俣
0:38:26	JISA棟、すここの検討波源モデルというふうにしてるのはすべて普通の地震に朝、津波地震でのトラフ軸付近の動きの話なので、
0:38:37	全部、トラフ軸付近は動いているというものなので、両方の両者の同時発生として考えてるものになります。
0:38:48	そうですね。なんで、一応検討波源モデルBも程度論はもちろんね、あるんですけど分岐断層に、方に滑りがずれていったところは、
0:38:59	当然海溝軸付近まで大きな滑りを滑り設定したいんですけど、
0:39:03	どのぐらいウェイトをて置いているかというのはあれ、基本的には、
0:39:08	海溝軸付近、M9 クラスであり、海溝軸付近で大きくすべらせるっていう
0:39:14	ところはカバーしてるっていうことですかね。はい。ちょっとそこら辺も
0:39:18	きっちりアノGuideNoアノホシトリで番号をこの資料の中に入れてくれっていうことではないんですけど。
0:39:24	ちょっと、どういうものを考慮してるかとか特にない。どういう、ガイドでいうところのどの部分を重視して作られたモデルなんだというところか。
0:39:31	そこら辺の考えにわかるようにしていただきたいかなと思ってますので、ちょっとそこだけすみません。
0:39:38	現段階でということで申し上げさせていただいた次第です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:43	はい。橋村加茂でございます
0:39:47	今お聞きしてて、確かにこの
0:39:50	今回、説明の中で、検討波源モデルをちゃんとM9 で、国内外の知見であつたり、東北沖地震の知見、或いは南海トラフの特徴を織り込んで作りますと、
0:40:03	それを作成するにあたって左側、痕跡再現モデルってことで南海トラフの多様なM8 クラスの地震というのを、大きくその宝永クラスの全域が破壊したような、
0:40:15	地震をベースに作るCというものがあって、
0:40:22	遠州灘沿岸域ではそれぞれ5地震ぐらいあったもので、似たような津波高が出ているということでそちの特徴をとらえるというところを、
0:40:32	織り込んだABってなるんすけど。
0:40:35	ちょっとさ、先ほどの話のように星取表っていうか、それぞれのモデルが何を、
0:40:41	織り込んでいるかっていうのを見える化してかつ、先ほど鈴木さんからご確認あったように、これは多様なモデル、多様な地震の、
0:40:52	結果を同じように評価するモデル、それぞれに、要は優劣ではなくて、この多様な地震をこういう形で、
0:41:02	網羅してるっていうのが読めるような、表なりをしっかり整備して参りたいと思います。
0:41:12	はい。
0:41:13	お願いします。でも、
0:41:16	分岐断層にフェリーがずれ乗り移っ乗り移ってとか、ずれているのに、その部分を海溝軸まで全部やらせるなんていうところまでやったら多分やりすぎというか、そんなモデルは、
0:41:28	内耳内閣も多分作ってないんだと思うので、そういう意味でそのすべての同時発生をすべて重ねて同時発生という趣旨でガイドで書いてるわけじゃないので、要素として、きちんと検討されてるっていうことだけわかるようにしていただければと思う。
0:41:43	はい。
0:41:44	そうですね。根井。
0:41:47	はい。
0:41:50	あとはすいません資料の方ですかね、いずれ出てきた段階で中身の方とか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:56	具体的に、他のところの会合でもありましたけど一応これまで検討議論して、会合で議論させていただいてる内容っていうところが、小項目というか説明自体ががさっと抜け落ちたが、
0:42:09	しないようにだけはしていただきつつ、
0:42:11	ただ介護のコメント回答の時はかなり分厚くご説明をされてるようなところを、資料構築していく中で、本体にどのぐらい残して、
0:42:21	何か参考で、細かい検討どこで移してっていうのは、多分やられ、そういうところは、多少いじりようがあると思いますので、
0:42:30	コメント回答するためにどんどん本編が分厚くなっていくと、またそれはそれで読みにくさっていうのも出てくるので、はい。
0:42:36	わかりました。じゃあ、一応作業は進められているということで、これはこれで出てきたら、またヒアリングで確認ということにしたいと思います。
0:42:48	で、その作業状況も含めて、審査の対応スケジュールですかね。
0:42:55	こちらが少し現状版ということで、状況のご説明ですかね、お願いできますでしょうか。
0:43:04	中部電力の尾川です。
0:43:06	鳥栖先月、9月29日の日に、基準地震動の策定それから、地震以外の要因に、
0:43:14	の津波のところを審査会合を図っていただきましたので、その内容を反映しております。
0:43:20	それから、
0:43:21	地震動の方につきましては今後超過確率の参照というところは、年明けからの段階で対応していこうと思っていますので、その間にですね、基準津波の関係の、
0:43:34	審査の方を進めていただくということで、まず地震による津波ということ、本日、面談を実施いただいておりますけれども、また来週以降、ヒアリングを実施して、
0:43:45	11月の前半ぐらいに、会合に諮っていただけないかと思っています。その後、組み合わせということで、基準津波発生要因の組み合わせの方やりまして、
0:43:57	その際ですね堆積物のコメント回答も、一部残ってますので、それを次回、
0:44:05	次回ですか、12月の会合の中でご説明をさせていただきたいと思っています。
0:44:10	で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:14	後にですね実際、ボーリングコアとを見ていただいた方がいいのかなというところで、現地の確認というものを1月に入れさせていただいておりまして、それを含めて最後、
0:44:24	基準津波の取りまとめということを考えております。
0:44:28	それから地質調査の方ですけれども、もともと12月に審査会合に話していただいていたということで、そこで調査方針ということも、
0:44:39	活動性評価の方針をご説明した上で、3月に結果も含めてご説明をするということで考えておりましたが、今のところはですね
0:44:51	現地、津波の方の現地確認いただく際に、あわせて、今の地質の状況のご確認をいただければと思っております、
0:45:01	その関係の面談を12月ぐらいから回収させていただいて、当初予定通り3月ぐらいに評価結果を説明させていただけないかというふうに思っております。
0:45:12	それ以外にあと
0:45:15	今、基準地震動それから基準津波の取りまとめがされた後、プラント班の意向ということで、
0:45:22	12月ごろ基準津波について審査会合を議論いただいて、2023年度の冬から春ごろにかけて、
0:45:29	プラント班の審査の方の再開につなげていきたいというふうに考えております。説明以上になります。
0:45:40	これ、
0:46:26	はい。そうすると、ただ2ページが、あれですね今年度で、
0:46:32	その次があれですね来年度のものちょっとさておきですね、2ページ目で、
0:46:40	ちょっとすみません細かいところであれなんですけど、ちょっと現地調査とかの現地確認とか調査とか、
0:46:47	ちょっと主体の話で、
0:46:52	地震動の審査実績に基づいてと言っていてこの地質地質構造の12月ぐらいに、何か白い丸が二つあって予定、面談予定って書いてあって、
0:47:05	現地調査説明資料と言っているこの現地調査っていうのは、御社が調査されてるっていう趣旨の話です。それとも、
0:47:14	我々が普段、現地調査現地確認ってアノ委員が行く場合我々が行く場合って言っている使っている単語と、ちょっと今度質問なっちゃってすみません。こちらにつきましては現地確認、
0:47:26	方らしくてですね現地調査という、ちょっと言葉が誤記となっております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:31	そういうことですか。
0:47:33	藤元多分、
0:47:36	開会后ベースでいくと、
0:47:39	まあね、11月ぐらいに資料を出して12月ぐらいに、
0:47:45	現状のいわゆるいわゆるなんかSK層ってやつでしたっけ
0:47:50	調査とか、あとはBF1地点付近までのH断層系の連続性というかですね。
0:47:57	同一性というかその辺の序舎状況っていうような、
0:48:00	もう1回会合でと言ってた部分を、
0:48:05	とは言いつつ、一旦現場の作業状況みたいなものをですねトレンチとか、
0:48:10	含めて年明けぐらいに、
0:48:14	これ白丸だから、ちょっとその面談という言い方がいいのかヒアリングという方がいいかは別にして、
0:48:20	まず見に来てください。
0:48:23	で、
0:48:24	それはどこに向かって言うと、御社としては津波優先って話は前回会合をされてたんで、
0:48:30	津波の方優先でちょっとこれ現地確認なのか、現地調査のかはさておき、
0:48:36	二つ下の基準津波のところで堆積物ですかね津波堆積物というか今イベント堆積物と言った方が正確かもしれませんが、
0:48:45	その確認の。
0:48:46	時に。まず、松イデというのはあれですけど、
0:48:51	BFトレンチ1トレンチなんかを見て、
0:48:55	見て、
0:48:57	その上で少し現場のイメージを持った上で、
0:49:01	評価方針の説明をしないと、というようなことですかね。はい。
0:49:07	ちょっと時期的なところですよ。
0:49:09	はい。
0:49:11	はい。中部電力浜野です。そう。ご理解の通りで、
0:49:16	あくまで津波を優先させていただきたいということをお願いしている中で以前から図、イベント堆積物のコアっていうのが
0:49:27	当時BF4あたりのものとは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:49:32	明らかに要素が違うでしょうというのをご確認いただくという部分が残っていると思っておりましたので、これを1月ぐらいに、
0:49:43	お願いするというのが、メインの趣旨でございますので、
0:49:48	せっかく現地に来ていただけますので、できればそのBF1のトレンチというのも併せて、ご確認いただければありがたいという趣旨で今日、
0:50:00	資料としてお持ちしているというところでまだ、当然何も決まっているわけではないので、今後の審査の過程によるかと思いますが私どもとしてはこういう、
0:50:11	流れで行きと行かせていただくと非常に説明しやすいなというふうに考えているものです。
0:50:21	はい。
0:50:24	ちょっと地質のお話状況は位置付けというかちょっと調査確認、ちょっとそこら辺はさておきですね。
0:50:32	基準地震動の方わあ、少しちょっと名神のところとかね、まとめ資料上とか資料の、
0:50:39	ベントはしてますけど、
0:50:41	基本は次が年超過確率で、
0:50:44	その際に少し免震の部分ですかね、この
0:50:49	院長間のところでハザードスペクトルを作るので、その結果でございますね。
0:50:54	あわせてご説明いただくただこれは御社としては、
0:51:00	他の項目を優先するんでこれも相田牛にすることはないと。
0:51:06	で、津波なんですけどね、今日だからプレート間の方は今、資料構成論理構築の状況ということで今日面談をさせていただいて、
0:51:18	海域活断層のコメント回答パラスタは、
0:51:24	一応資料としては出ているので、これはまたヒアリングで確認をさせていただくと。
0:51:30	あとは9、その資料の中に組み合わせの考え方なんかも、
0:51:35	トダテてこれを、
0:51:37	次の会合では、ちょっとプレートがねどのぐらいボリュームで、
0:51:43	あるのかいうんですけど、
0:51:45	これ資料としてはだから、
0:51:49	近々出てくるっちゃんことですかねさっきあの状況を確認しましたけど、プレート間は、
0:51:57	中部電力もですね。はい。近々、今日ご確認いただいて、私たちの考えてる章構成なんかも、ご確認いただきましたので

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:09	特に後ろの方先ほど鈴木さんおっしゃられたように、
0:52:12	今まで提出したやつ、どれを本体に残してどれを補足にするかという作業は、
0:52:20	あるんですけど、新たにもものすごい量の資料を作るというものではないので、迅速に対応したいと思ってますただ、ちょっと今後の当然ご相談で、ボリューム感が、
0:52:33	多過ぎるということは否めないところもありますので、メインで説明するのとそうではないところ、
0:52:41	上旬上手に、
0:52:44	レイアウトする必要性があるかなというふうには考えているところです。
0:52:49	一応
0:52:51	基準津波の選定になので、行く前ですね。
0:52:56	組み合わせの話考え方の話と、
0:52:59	海域活断層の追加パラストの話と、プレート間の全体の整理の話と、
0:53:05	あとは組み合わせのもう少し具体的な組合員の評価方針ってのは多分もう少し時間差とか解析条件とかその話。
0:53:13	あとは組み合わせ結果とかですね。
0:53:16	その話と、さらには津波堆積ですと当然そのクリアしなきゃいけないものは当然数としては上がってると思うんですけど、
0:53:24	あとはその順番とかですね。
0:53:27	をどうやっていくかということ。
0:53:31	なかなか多分プレート間がこれから、資料としてね。
0:53:36	から出てきて、
0:53:38	2回ヒアリングやってこの黄色い三角のタイミングで何かまとめてガバッといかっていうと、
0:53:45	ちょっと難しいんじゃないかなと思いますけどね。一方多分御社としてそのあとの堆積物はもしかしたら、
0:53:52	そんなに難しくないよ。
0:53:54	思っているのかもしれないけどこれは、これも会合でも言っていましたけど結局どういうものを、イベント堆積物でどういうものがイベント堆積物じゃないかっていう、
0:54:02	御社なりのクライテリアと、その結果はちゃんと見えるようにしてもらいたいので、
0:54:07	それは資料づくりの話なんでねいいですけど、
0:54:12	組み合わせの評価方針とか選定結果とか、この辺は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:18	どうですかねなんていう、もう少しその組み合わせ時間差とか時間の範囲とかそういう、
0:54:23	ところの、
0:54:25	基本次第では、もうす何とかを組み合わせ時間の幅が長くなると。
0:54:30	最終結果に何か影響しそうだから、これ早く議論したいっていうそういうイメージなのか。
0:54:36	実はあんまりそこを関係なくて、すでに最大最大でも重なっ
0:54:40	ちゃうので、あんまりその範囲がずれ様がなんだろうが最終結果には影響しないけどっていう
0:54:47	この辺も何か優先順位はどうなんですかね。
0:54:50	チームニカモノです組み合わせの調査方針は以前すでに審査会合で、
0:54:55	ご説明させていただいた通りで、30秒ピッチぐらいでその組み合わせをやって、上に凸になるというところを確認した上で一番ピークのところをさらに細かく
0:55:10	解析して、トップを出すというところまでは、試算としてはもうできておりますので、考え方自体は、特に
0:55:20	審査会合の中でも問題ありというお話ではなかったと認識しておりますので、作業という意味では、
0:55:28	それぞれ組み合わせるパーツのプレート間であったり、活断層が決まってくれば、やれますんで、我々認識してるのは、ただ
0:55:38	一体計算でせ、やることを、他社とやり方が違うというところがありますんでこれ浜岡の特徴である敷地前面に砂丘堤防という、
0:55:49	1.6キロの中の広い範囲があるので、
0:55:55	他社と同じようにその線形で1回足してPEEKっていうとそれ、どこの話かっていうところになってしまいうんでこれ、我々のやってることが、十分網羅できてます。先行と、
0:56:08	やってることを網羅できてるっていうところの見える化をしっかりやっていきますけども、
0:56:13	作業的には、もうやるだけなんでまず、それぞれ組み合わせるべき対象を、
0:56:20	決定いただくっていうのが最優先で、それさえ決まれば、計算してお示しするという形になってくるかなというふうに考えています。
0:56:32	はい。
0:56:34	ちょっとんしてもう希望としては今このページにあるような、
0:56:39	この2回、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:44	組み合わせの結果までは、
0:56:48	そのあとはもう現状その他最後
0:56:51	選ぶ、行政機関との比較とかっていうのはもう、何ていうか結果としては、
0:56:56	超えるっちゃう見込みは何となくわかってるので、最後の選定のプロセスに行くまでに、手前で2回、
0:57:03	あと現地確認或いは現地調査。
0:57:06	ちょっとナカハマあるか。
0:57:10	項目が多いとそれだけ1回2の会合までのなんか時間が長くなるし、
0:57:16	分割する等、買い物回数としてはね、多分増えるってということかもしれないですけど、
0:57:21	うん。
0:57:23	どうかねえ。プレート間のものを見てみないとわかんないですけど、あまり2と3等、
0:57:29	その分だけ会合の
0:57:31	間っていうのはあるので、当然あれも中身もね、確認しないのに介護で競争だけ議論してもしょうがないんで。
0:57:41	本当そのあたりはもうちょっとこう優先順位というか、現実的なところは、
0:57:47	考えて、年内にこのスケジュールで、
0:57:52	いえるか。
0:57:55	このナカ堆積物の現地調査現地確認ですかねこの1月って入ってる。
0:58:00	これを最優先するんだとする等、多少ほかのものを少し、
0:58:04	場合によってはですよ。
0:58:06	はまらなければそれでもこのを死守しに行くのか。
0:58:10	堆積物の方の話を後ろにずらすそうすると結局、基準津波の選定は当然ずれてんですけどね。
0:58:17	ねえのか、ちょっとこの辺り、
0:58:21	この1月の現地っていうのはここは、ある種、固定ポイントだと思ってるんだとすると、津波堆積物の方はかなり、
0:58:29	優先順位、
0:58:31	高く説明したいんだろうなというふうには受けとめるんですけど、
0:58:35	そのあたりどうなんですか。
0:58:37	はい、中部電力浜野ですおっしゃる通りで、現地で見えていただくっていうところになりますとやっぱり日程等が、
0:58:46	縛られてきますので堆積物の方の紙資料は、迅速に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:51	整理してご説明したいと思っておりますもともと内容的にはご理解いただいたと思っておりますけどロジックの部分がわかりにくいというご指摘だったと思いますので、資料構成のほうを見直して、
0:59:06	出したいと。これはやっぱり年内に1回ずつご説明した上で、現地で要は50メートル盤にあるようなものとは違いますねというところのご確認をいただくというふうに、
0:59:20	考えておりますここは優先かなと思っております。あとは、下活断層、
0:59:26	当プレート間という組み合わせ対象のところの審査をいただくとアトワス最後組み合わせの間、
0:59:33	今後の進捗次第で当然組み合わせがその現地確認の後になるっていうのは致し方ないかなとは思っておりますけど、私どもとしては、頑張っ
0:59:42	て、 やっています、鈴木さんおっしゃられたように1回に詰め込みすぎると、逆に遅くなってしまいういうのも重々理解しておりますので、資料をご確認いただいた上で、
0:59:55	スケジュール感っていうのは考えていただければ、
0:59:59	結構かなと思っております。
1:00:03	はい。ちょっとこちらの会合とかも含めて、総数、
1:00:08	こちらのファイの話もあるので、
1:00:10	もうちょっとね、この会、今あるという、1月中とあと12月中のこの黄色、
1:00:17	こん中から、
1:00:19	もし何か1、1項目、
1:00:22	動かすんだったらこれっていう、そういうのは常々ちょっとお考えをいただいて、
1:00:28	おいてください。
1:00:30	ということで、やる項目を固定するとその辺、
1:00:34	1回までの間が長くなるし、
1:00:36	向こうずらすとMaaS騒然その分だけ返すことかえってもしかしたらもう1回増えてしまうかもしれないので、
1:00:42	そこら辺は常々お考えいただければと思います。
1:00:45	何かあまりこの段階で、今、すいません、希望としてはこういうことなので、
1:00:51	大井、
1:00:53	おりました。ちょっとうちも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:55	現地確認現地調査ちよつとこの辺も、どういうふうに半分のかつていうのはこちらとしても考えたいと思いますけど。はい。
1:01:03	そこは何かスケジュールは、よろしいですか。なければ面談を終了しますけど、中部電力から何かありますか。
1:01:10	よろしいですか。
1:01:13	はい、じゃあ、以上で面談の方を終了したいと思いますお疲れ様でした。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。